

審 査 の 結 果

1. 令和2年度一般会計及び特別会計決算、その他関係書類は、審査した限りにおいて法令に適合し、かつ正確であると認められた。
2. 各会計の歳入歳出の執行、収入支出の事務処理及び財産の管理については、おおむね適正になされていると認められた。

決 算 の 概 要

1. 各会計の総括（別紙資料編：別表1－3参照）

令和2年度の各会計決算の総括は、次表のとおりである。

（単位：円）

区 分 会 計	予算現額	歳 入 決 算 額	歳 出 決 算 額	歳入歳出 差 引 額	翌年度へ繰り 越すべき財源	実質収支	
一 般 会 計	20,175,448,980	19,551,635,879	19,344,850,492	206,785,387	37,509,560	169,275,827	
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	4,359,470,000	4,302,323,010	4,261,272,411	41,050,599	0	41,050,599
	後 期 高 齢 者 医 療	327,978,000	328,498,520	326,551,829	1,946,691	0	1,946,691
	土 地 区 画 整 理 事 業	577,912,880	577,958,395	540,182,413	37,775,982	35,236,800	2,539,182
	小 計	5,265,360,880	5,208,779,925	5,128,006,653	80,773,272	35,236,800	45,536,472
総決算額	25,440,809,860	24,760,415,804	24,472,857,145	287,558,659	72,746,360	214,812,299	

歳入決算額24,760,415,804円、歳出決算額24,472,857,145円で歳入歳出差引額287,558,659円となり、前年度を34,118,315円上回る額である。翌年度に繰越すべき財源は72,746,360円で実質収支額214,812,299円の黒字となっている。

歳入決算額は、調定額に対し、収入率97.8%で24,760,415,804円が収入済額となっている。

また歳出決算額は、予算現額に対し、執行率96.2%で24,472,857,145円が支出済額であり、翌年度への繰越額は555,899,560円、不用額は412,053,155円となっている。